

2015年度 大阪大学 (前期)

医学部

試験時間 : 150 分

全問必答

1 自然数 n に対して関数 $f_n(x)$ を

$$f_n(x) = \frac{x}{n(1+x)} \log\left(1 + \frac{x}{n}\right) \quad (x \geq 0)$$

で定める。以下の問いに答えよ。

(1) $\int_0^n f_n(x) dx \leq \int_0^1 \log(1+x) dx$ を示せ。

(2) 数列 $\{I_n\}$ を

$$I_n = \int_0^n f_n(x) dx$$

で定める。 $0 \leq x \leq 1$ のとき $\log(1+x) \leq \log 2$ であることを用いて数列 $\{I_n\}$ が収束することを示し、その極限値を求めよ。ただし、 $\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{\log x}{x} = 0$ であることを用いてよい。

2 実数 x, y が $|x| \leq 1$ と $|y| \leq 1$ を満たすとき、不等式

$$0 \leq x^2 + y^2 - 2x^2y^2 + 2xy\sqrt{1-x^2}\sqrt{1-y^2} \leq 1$$

が成り立つことを示せ。

3 以下の問いに答えよ。

(1) $\sqrt{2}$ と $\sqrt[3]{3}$ が無理数であることを示せ。

(2) $p, q, \sqrt{2}p + \sqrt[3]{3}q$ がすべて有理数であるとする。そのとき、 $p = q = 0$ であることを示せ。

4 座標空間の x 軸上に動点 P, Q がある。 P, Q は時刻 0 において、原点を出発する。 P は x 軸の正の方向に、 Q は x 軸の負の方向に、ともに速さ 1 で動く。その後、ともに時刻 1 で停止する。点 P, Q を中心とする半径 1 の球をそれぞれ A, B とし、空間で $x \geq -1$ の部分を C とする。このとき、以下の問いに答えよ。

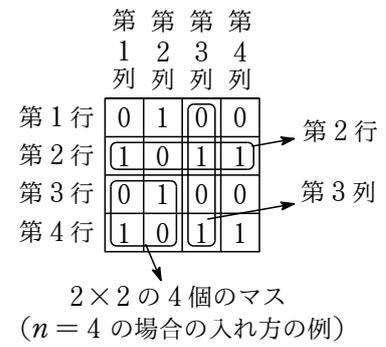
(1) 時刻 t ($0 \leq t \leq 1$) における立体 $(A \cup B) \cap C$ の体積 $V(t)$ を求めよ。

(2) $V(t)$ の最大値を求めよ。

5 n を 2 以上の整数とする。正方形の形に並んだ $n \times n$ のマスに 0 または 1 のいずれかの数字を入れる。マスは上から第 1 行, 第 2 行, \dots , 左から第 1 列, 第 2 列, \dots , と数える。数字の入れ方についての次の条件 p を考える。

条件 p : 1 から $n-1$ までのどの整数 i, j についても, 第 i 行, 第 $i+1$ 行と第 j 列, 第 $j+1$ 列とが作る 2×2 の 4 個のマスには 0 と 1 が 2 つずつ入る。

- (1) 条件 p を満たすとき, 第 n 行と第 n 列の少なくとも一方には 0 と 1 が交互に現れることを示せ。
- (2) 条件 p を満たすような数字の入れ方の総数 a_n を求めよ。



2015年度 大阪大学 (前期)

医学部

(略解)

 証明, 図示などは省略**1**

(1) 証明は省略

(2) 証明は省略。 $2 \log 2 - 1$ **2**

証明は省略

3

(1) 証明は省略

(2) 証明は省略

4

(1) $V(t) = \pi \left(-\frac{t^3}{3} - t^2 + 2t + \frac{4}{3} \right)$

(2) $\pi \left(-\frac{4}{3} + 2\sqrt{3} \right)$

5

(1) 証明は省略

(2) $a_n = 2^{n+1} - 2$